

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松原市天美南五丁目マンション	階数	地上10階
建設地	大阪府松原市天美南五丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	103 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年5月26日
敷地面積	940 m ²	作成者	株式会社 高橋建築設計事務所
建築面積	327 m ²	確認日	2021年5月26日
延床面積	3,044 m ²	確認者	株式会社 高橋建築設計事務所

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	圧迫感を感じさせないよう敷地奥側に建物を配置し、緑地には中高木をバランスよく植栽することにより周辺環境との調和を目指した。また歩道を設け、自動車の動線を分離することで、居住者の安全性に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	遮音性を高め、生活音が漏れにくい製品を採用している。また、建築材料をほぼ全面的に汚染物質の少ない製品を採用しており、室内の空気に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成することで周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	外壁面に発砲硬質ウレタンフォームを施す等、外皮の断熱性を高めるなどし、省エネルギーに配慮した。また、自然採光や自然換気・通気による自然エネルギーの利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 低Nox型のガス給湯器を採用し、汚染物質の発生を抑えている。
Q2 サービス性能	バリアフリーの基準を満たし、階高も高く計画している。また内装・仕上げにおいては、維持管理に配慮した取り組みをしている。	
LR2 資源・マテリアル	節水仕様の便器を採用し、節水に取り組んでいる。部材の再利用や汚染物質の含有が少ない製品を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0017

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)松原市天美南五丁目マンション					
		建設地	大阪府松原市天美南五丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					3		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.3	3		
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0	3		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0	5		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								